



# クォーツロック フルオート プレーヤー システム

# QL-Y77F

 ELECTRO-DYNAMIC SERVO TONE ARM

## 取扱説明書



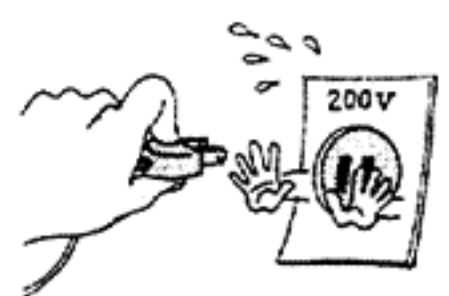
— お買いあげありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、大切に保存してください。

# ご注意

## ■ 安全上の注意

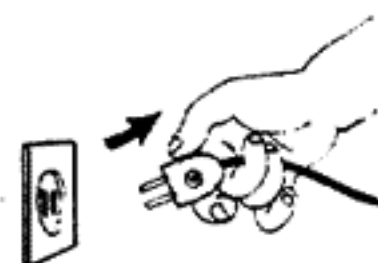
- 電源電圧は  
交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は  
50 Hz 地域 または 60 Hz 地域でもそのまま使用できます。
- 電源コードを取り扱うときは  
電源コードの取り扱いかが悪いと、火災や感電の原因となることがありますので、次のような点に十分ご注意ください。



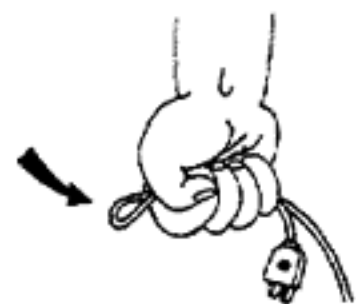
100V 以外は使用しない



濡れた手でさわらない



抜くときはプラグを持って



折り曲げたりしない



敷いたりして傷をつけない



継足しなどはしない



プラグを抜く習慣を

- 異常と感じたときは  
煙がでている、変な匂いがする……などの故障状態のまま使用すると危険です。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



- セットの内部に触れることは  
危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は、販売店へお任せください。



- 水がこぼれたときは  
セットの上に花瓶、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。万一内部に水が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



## ■ 取り扱い上の注意

- 性能の維持確保 あるいは 故障防止のため、次のような場所はできるだけさけてください。

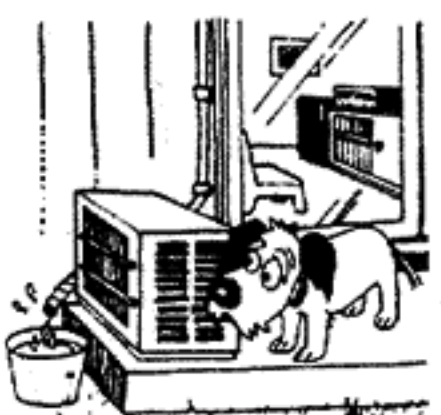
5°C ← → 40°C



周囲温度が「5°C ~ 40°C」の範囲を越える所



寒い部屋から急に暖かい部屋への移動



湿気の多い所



直射日光の当たる所



水平でない所



暖房器のそば



振動やホコリの多い所



テレビのそば

- 外国での使用は？  
本機は日本国内用に作られていますので、電源電圧、電源周波数の異なる外国では、使用できません。



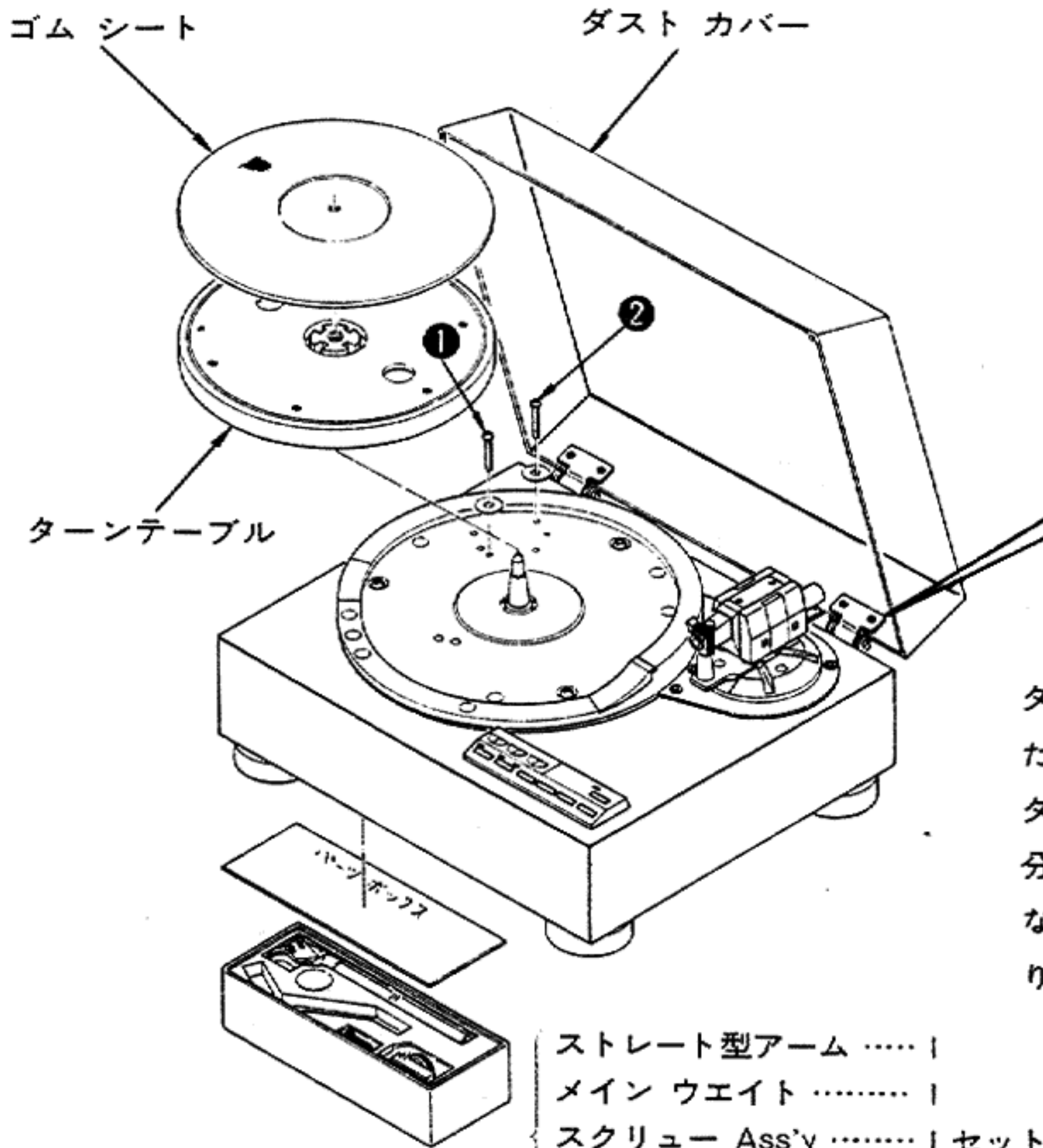
- キャビネットが汚れたら  
中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジンなどの使用は、ひび割れ、変色を招きます。



# 準備

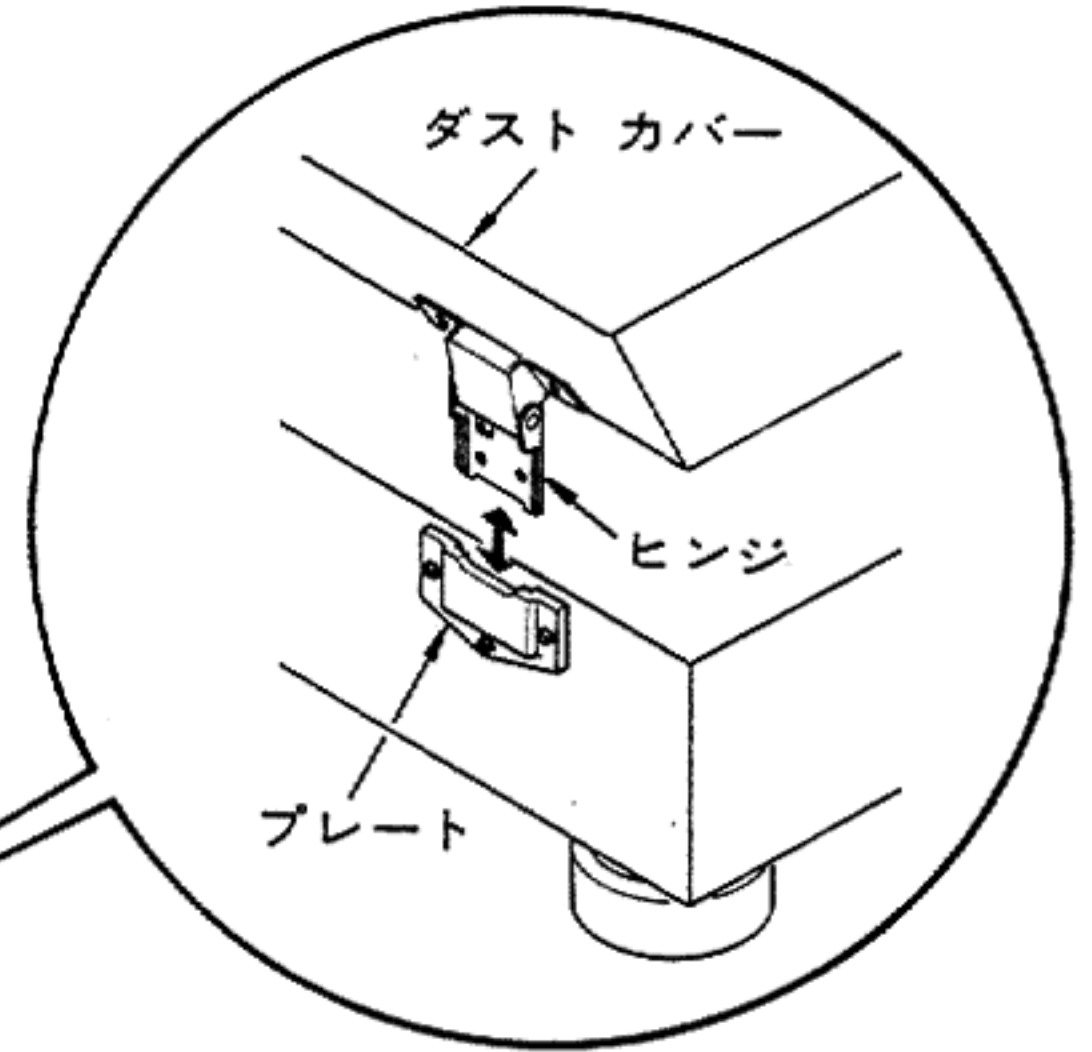
— トーンアームの高さ調整が終わるまで、電源プラグはコンセントにさしこまないでください —

## ■ 開梱・組立

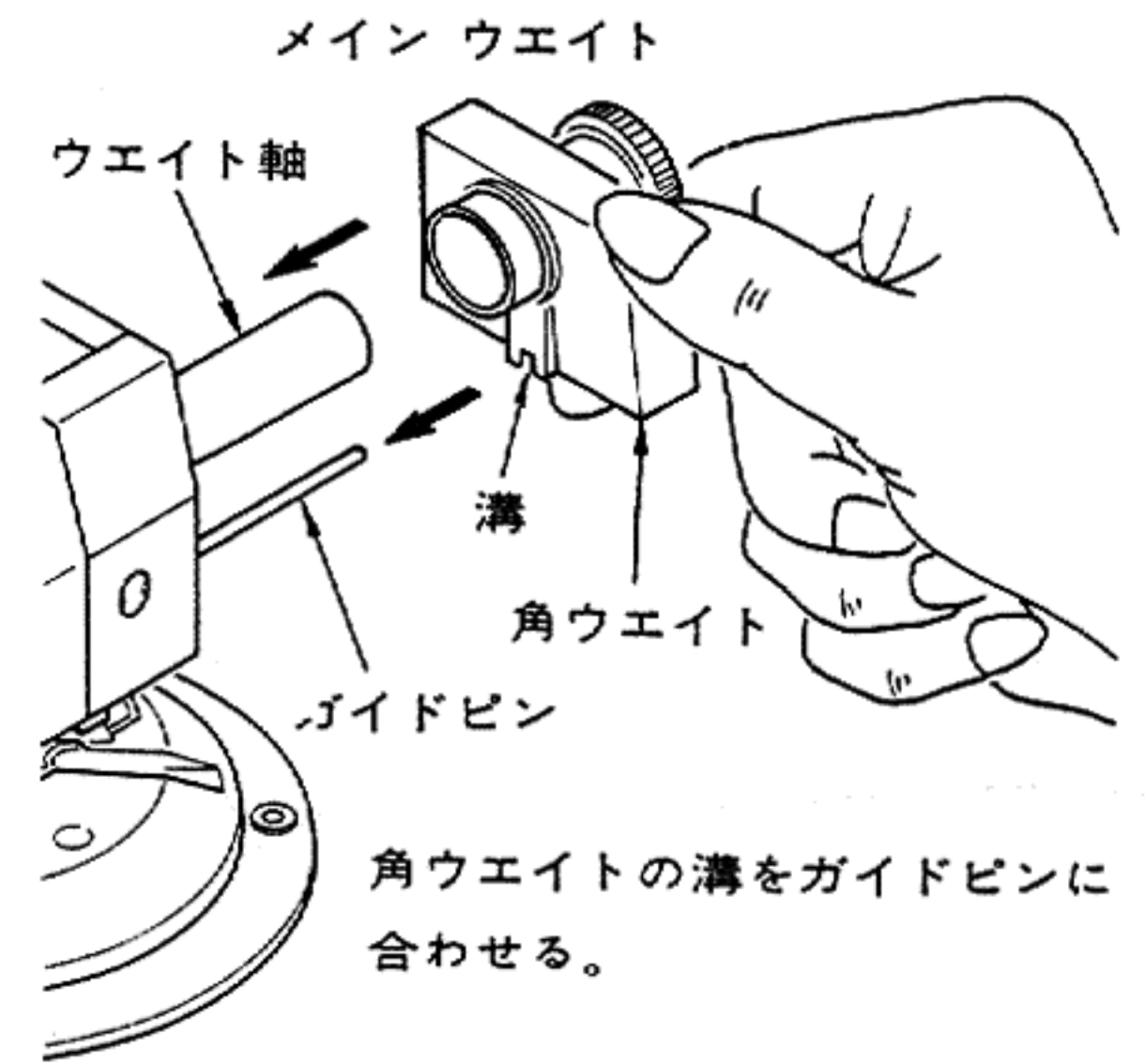


(注)・本機にはS字型アームは添付されておられません。

1. 輸送用のねじ ①、② を取りはずします。
2. ターンテーブル および ゴム シートを取り付けます。
3. パーツボックスの中のメイン ウェイトをウェイト軸に取り付けます。
4. 輸送用の赤テープをすべて取りはずします。



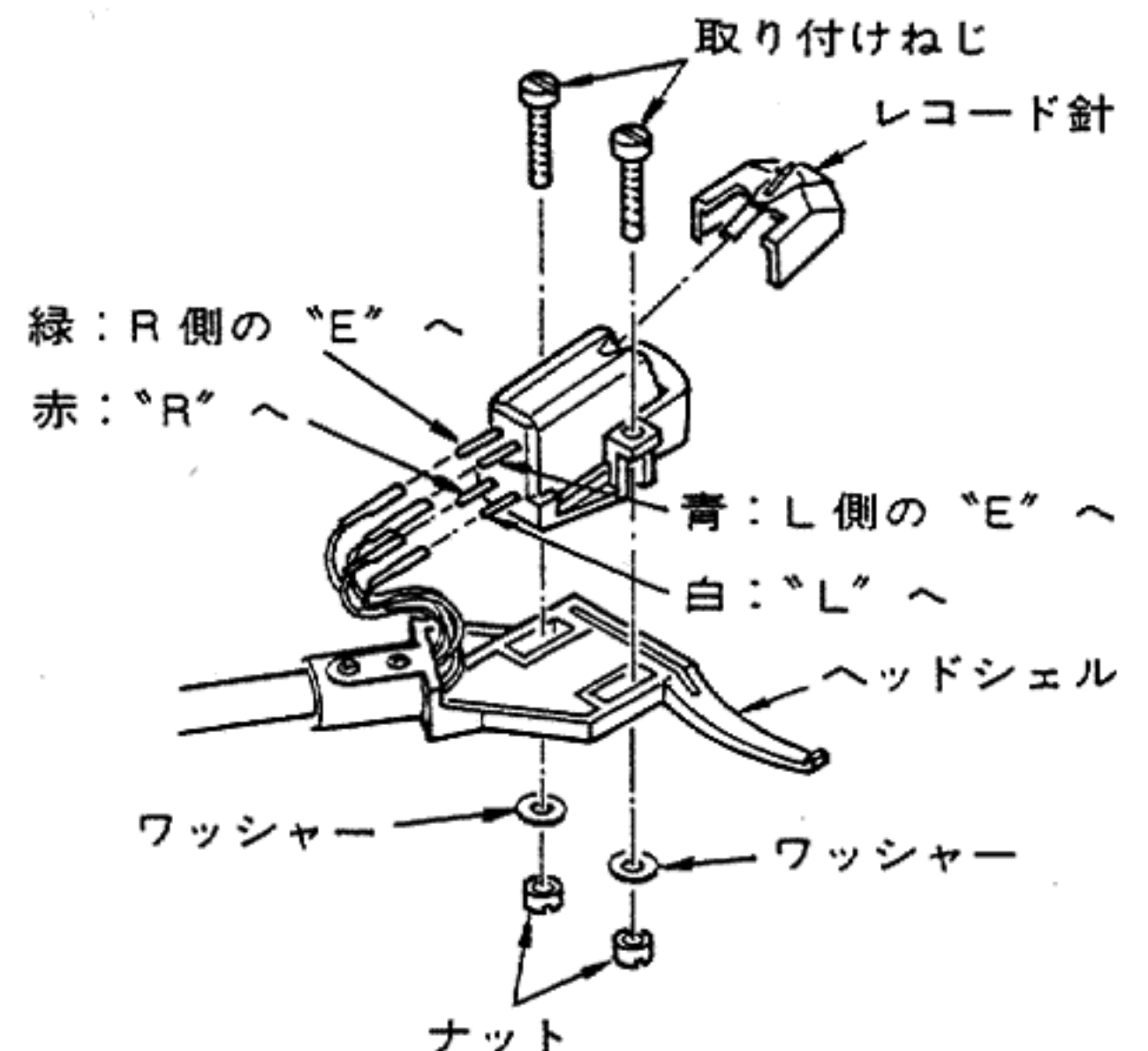
ダストカバーをはずしてから「準備」を始めてください。  
ダストカバーは上に持ちあげますと、ヒンジの部分がはずれて簡単に取りはずすことができます。  
なお、ダストカバーは「準備」が終わったあとに取り付けてください。



角ウェイトの溝をガイドピンに合わせる。

## ■ カートリッジの取り付け

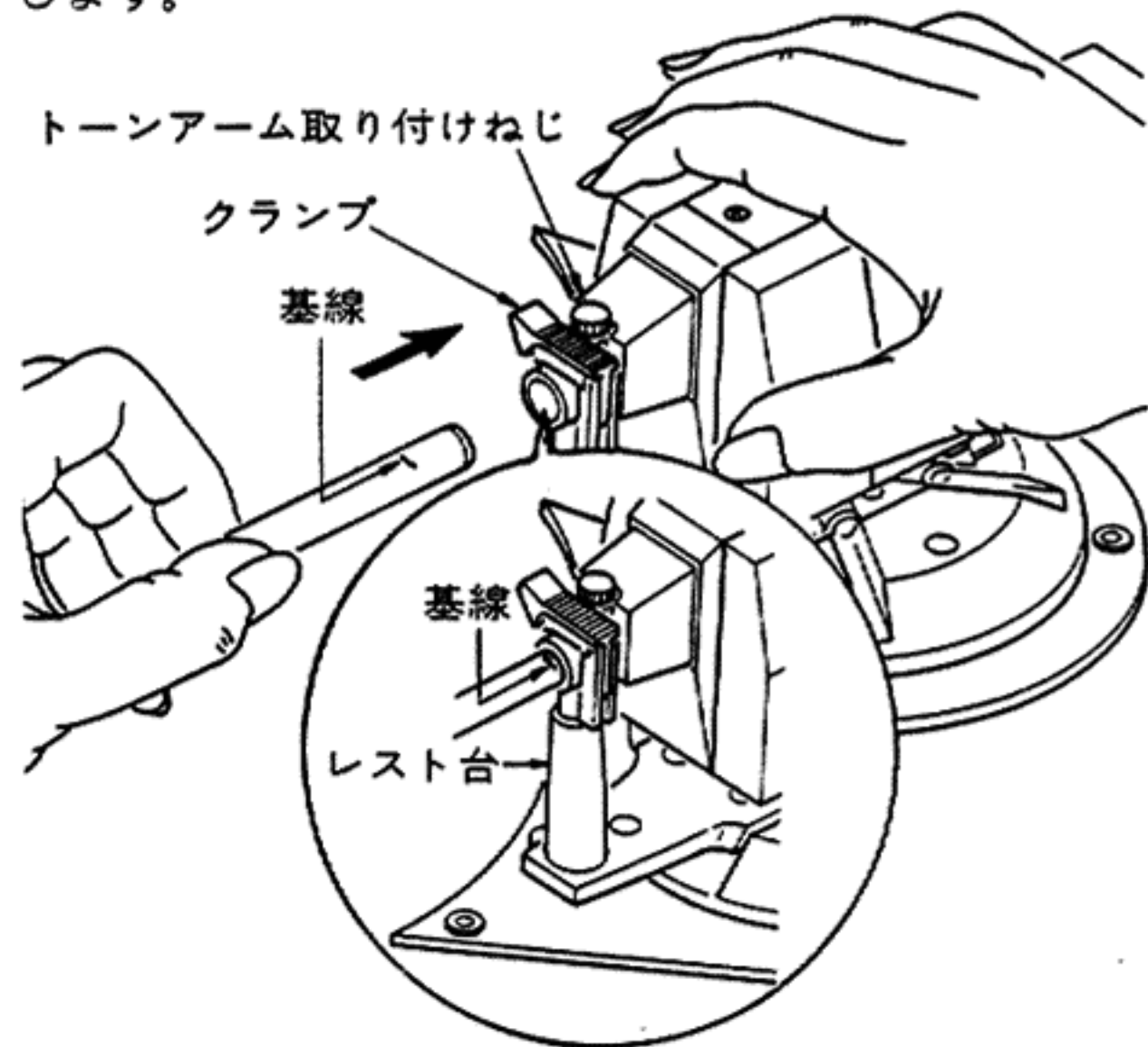
1. 本機にはカートリッジが付いておりませんので、パーツボックスの中のストレート型アームにお手持ちのカートリッジを取り付けます。この場合ヘッドシェルのリード線は図のようになっておりますので、極性を間違えないように注意して接続してください。
2. カートリッジをヘッドシェルに対してまっすぐ取り付けて軽くねじ止めしておき、「オーバーハング調整」をおこなってからしっかり固定します。  
なお、「オーバーハング調整」については9ページをご参照ください。



# 準備

## ■ トーンアームの取り付け

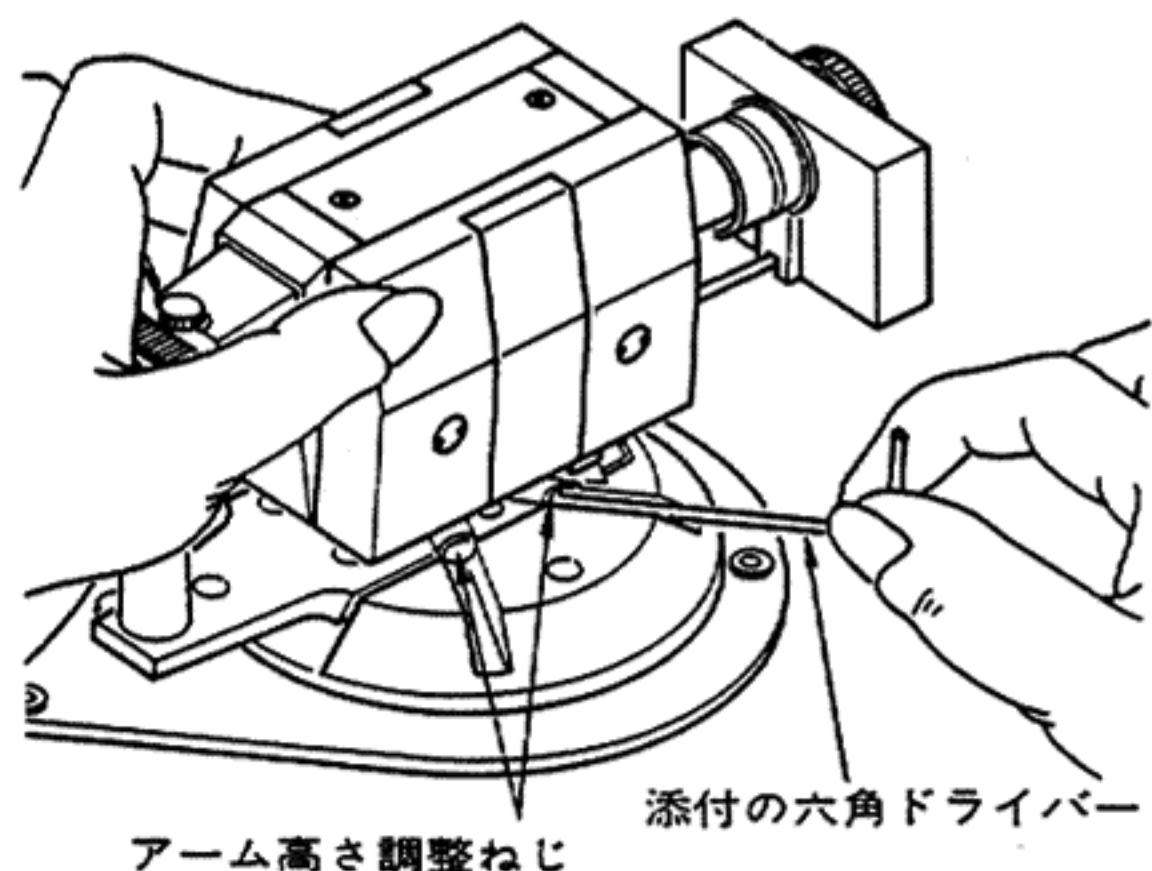
トーンアーム取り付けねじをゆるめ、カートリッジの付いたストレート型アームを図のように基線がわずかに見える所までいっぱいさしこんでから固定します。



なお、弊社からはカートリッジの付いていないストレート型アーム PH-100型（価格 7,000円）および PH-200型（価格 9,000円）が、また S字型アームとして PH-300Y型（価格 7,000円）が発売されておりますので、是非ご利用ください。

## ■ トーンアームの高さ調整

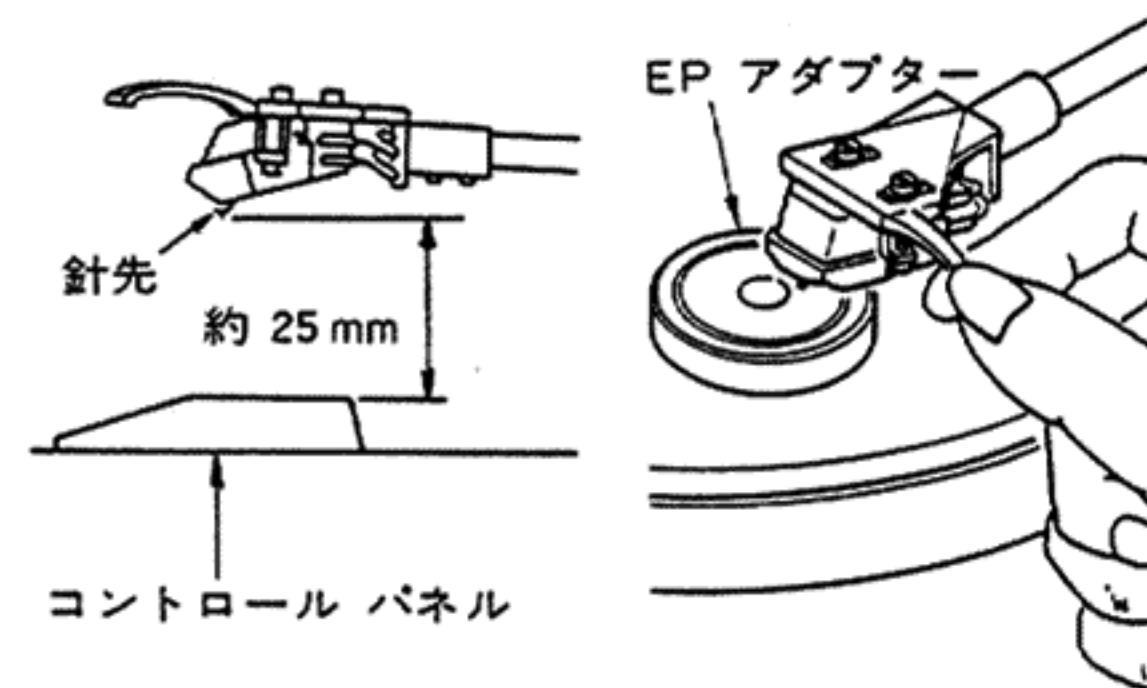
1. トーンアームをクランプで固定したまま、添付の六角ドライバーで図のようにアーム高さ調整ねじをゆるめ、トーンアームを上下に動かして針先がコントロールパネルから約 25mm となるようにトーンアームの高さを調整します。なお、調整後はアーム高さ調整ねじでしっかり締めつけておいてください。



2. クランプをはずし、トーンアームがストップするところまで軽く持ちあげ、針先がゴムシートより約 7~9mm であることを確認してください。

—— トーンアームの高さ調整が終わるまで、電源プラグ

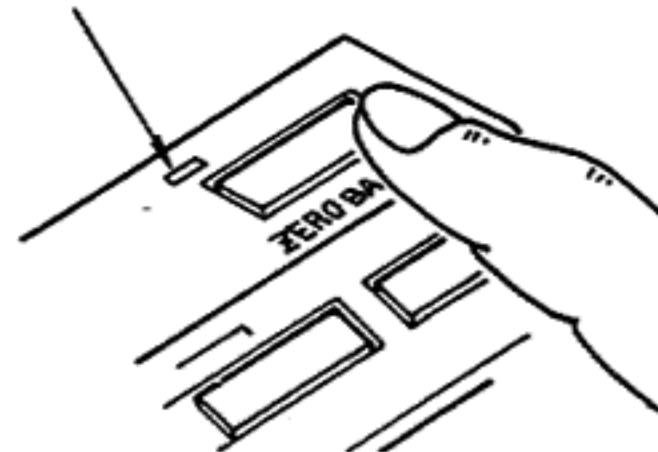
なお、添付の EP アダプターを使って図のように針先がアダプターに触れるか、触れない位置に調整されても結構です。



## ■ 針圧調整

1. 電源プラグをコンセントにさしこみ、POWER<sup>パワー</sup>のボタンを押して本機に電源をいれたあと、ZERO BALANCE<sup>ゼロ バランス</sup>のボタンを押します。ボタンを押すと、ZERO BALANCE インジケーターが点灯します。

ZERO BALANCE  
インジケーター

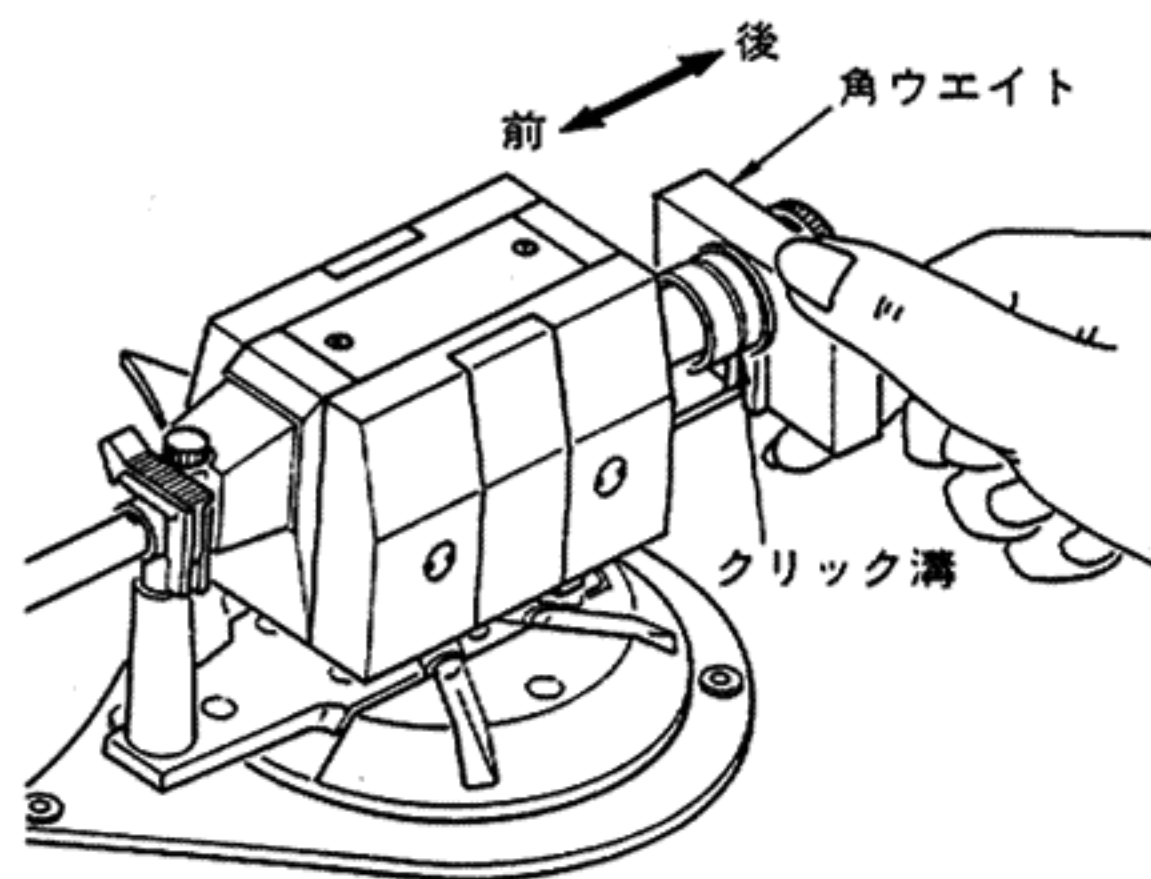


2. 角ウエイトを前後に移動させるとクリックで止まる位置が3つありますので、カートリッジの重量に合わせてお選びください。

前：3.5 ~ 8.0g のカートリッジ

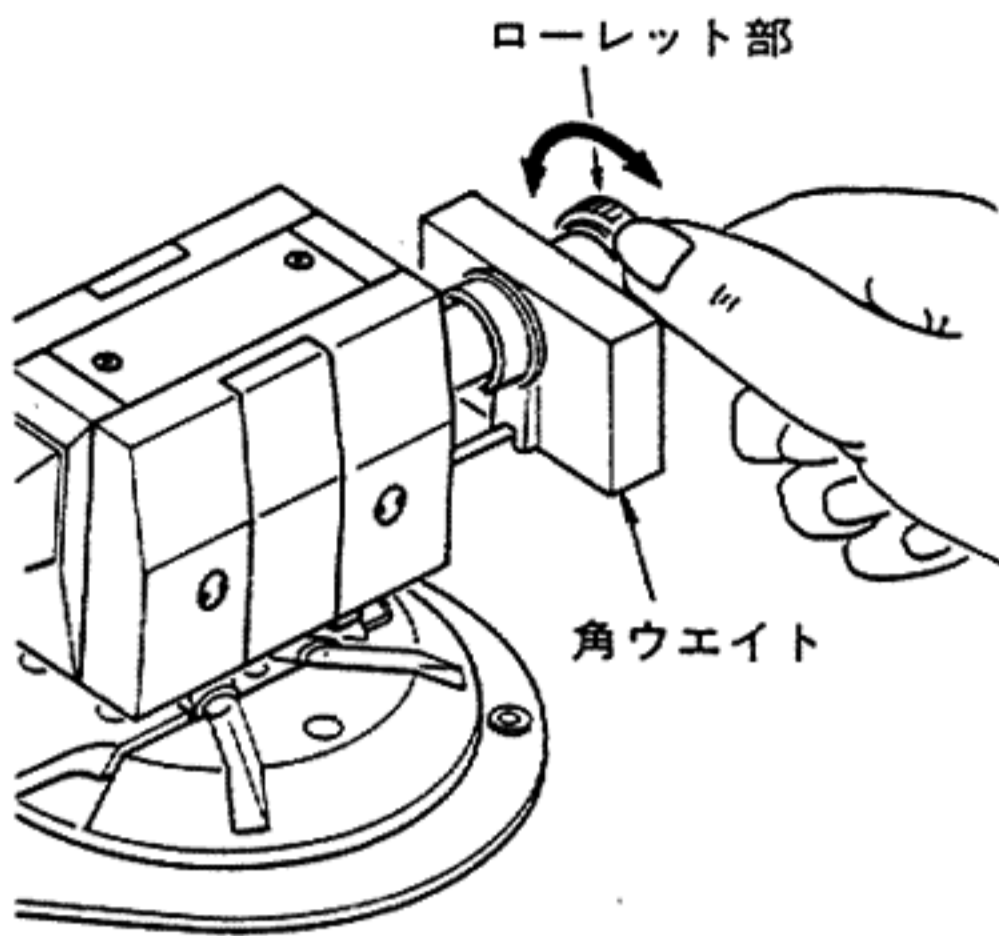
中：5.0 ~ 9.0g のカートリッジ

後：6.5 ~ 9.5g のカートリッジ



ラグはコンセントにさしこまないでください —

3. 角ウエイトを動かさないようにしてメイン ウエイトのローレット部を回し、針先がレコード面に触れるか、触れない位置で止めます。



(注)・S字型アーム・PH-300Y型(別売)をご使用いただくとき、カートリッジ側が重いためゼロ バランスがとれない場合は、別売のメインウエイト SW-Y55型(価格 2,000円)を併用して針圧調整範囲を広げてください。

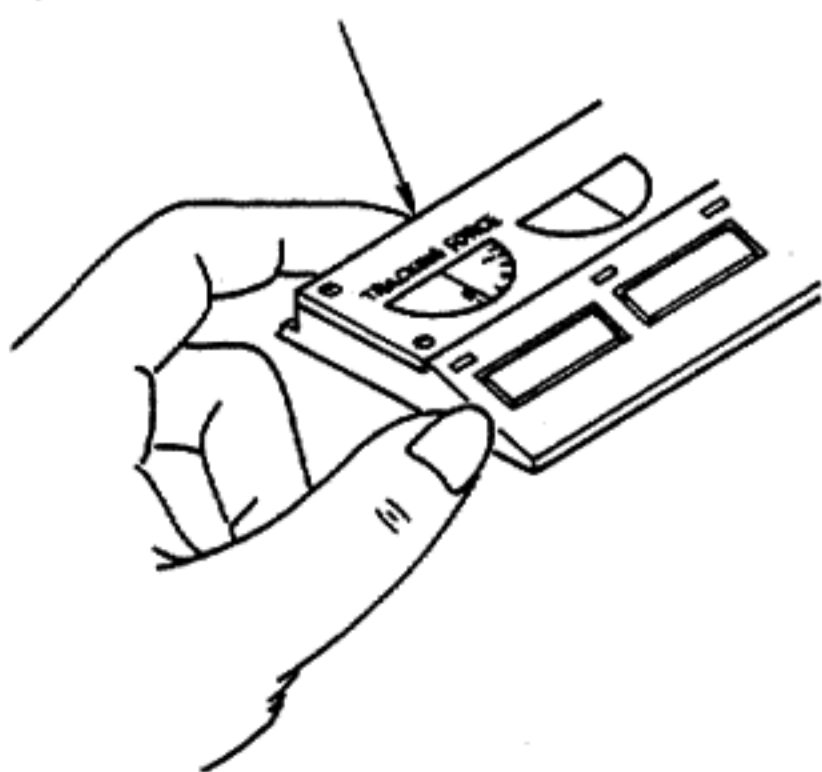
4. ZERO BALANCE のボタンを再度押して“OFF”にしますと、ZERO BALANCE インジケータが消えて自動的にトーンアームはレスト台までもどされます。

トーンアームがレスト台にもどされたあと、クランプしてください。

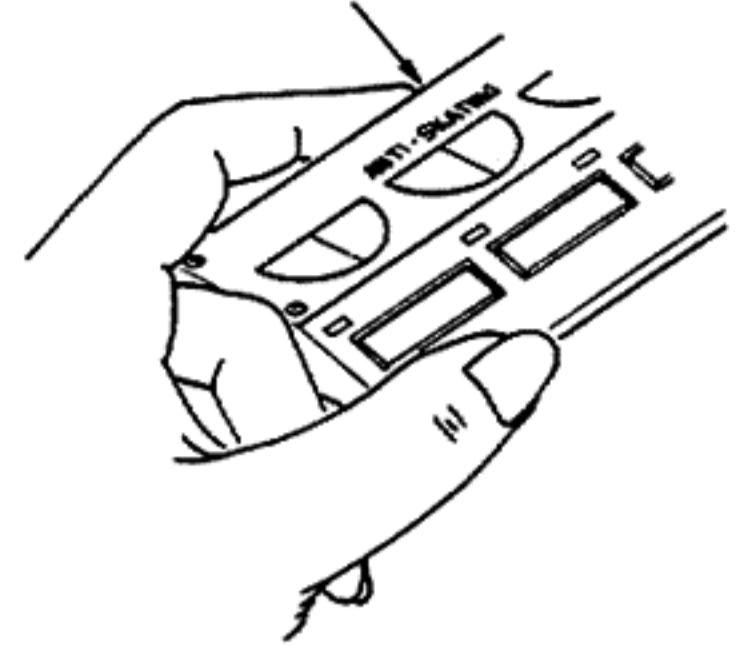
(注)・レコード演奏中に誤って電源を切ったり、あるいは 停電などがあったような場合でもレコードや針先を傷つけないため、約 0.5g のバイアスをかけております。従って、電源を切ったときのゼロ バランスと ZERO BALANCE スイッチを“ON”したときのゼロ バランスが違っておりますので、電源を切るとトーンアームが持ちあがるようになっております。

5. TRACKING FORCE、ANTI-SKATING、Q DAMPING の各つまみを使用するカートリッジの針圧値に合わせます。

TRACKING FORCE つまみ

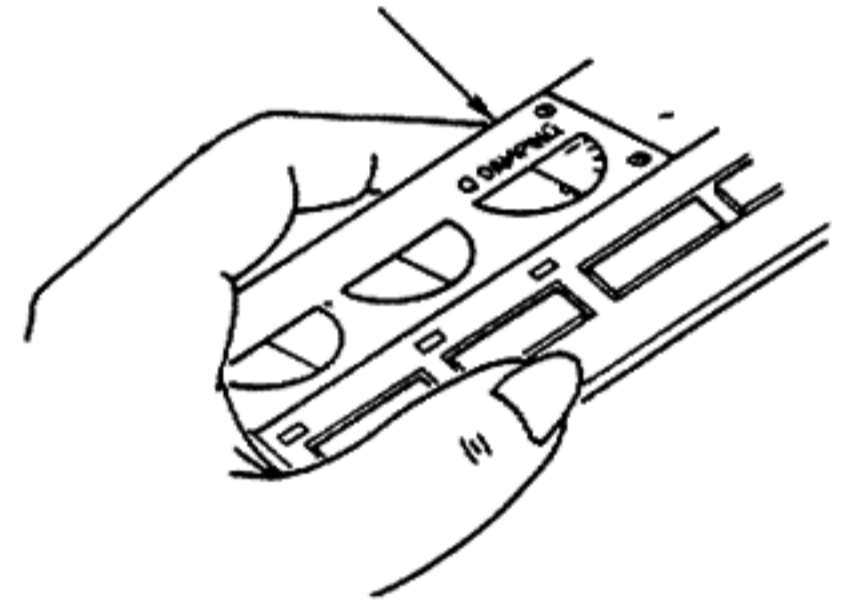


ANTI-SKATING つまみ



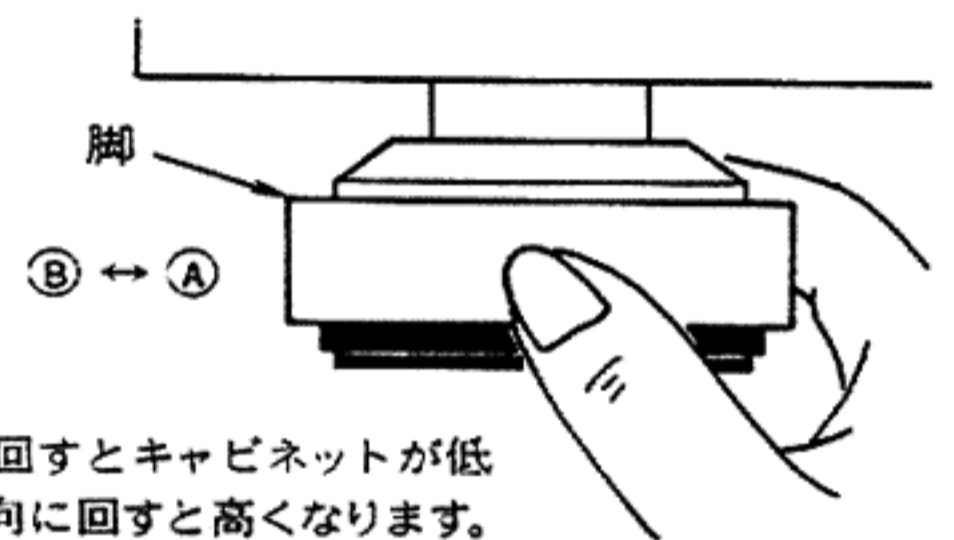
(注)・丸針をご使用になるかたは●印の目盛盤を、また 精円針やシバタ針は●印の目盛をそれぞれ使用するカートリッジの針圧値に合わせます。

Q DAMPING つまみ



■ キャビネットの水平調整

キャビネットが水平になるように、脚の部分回して調整します。

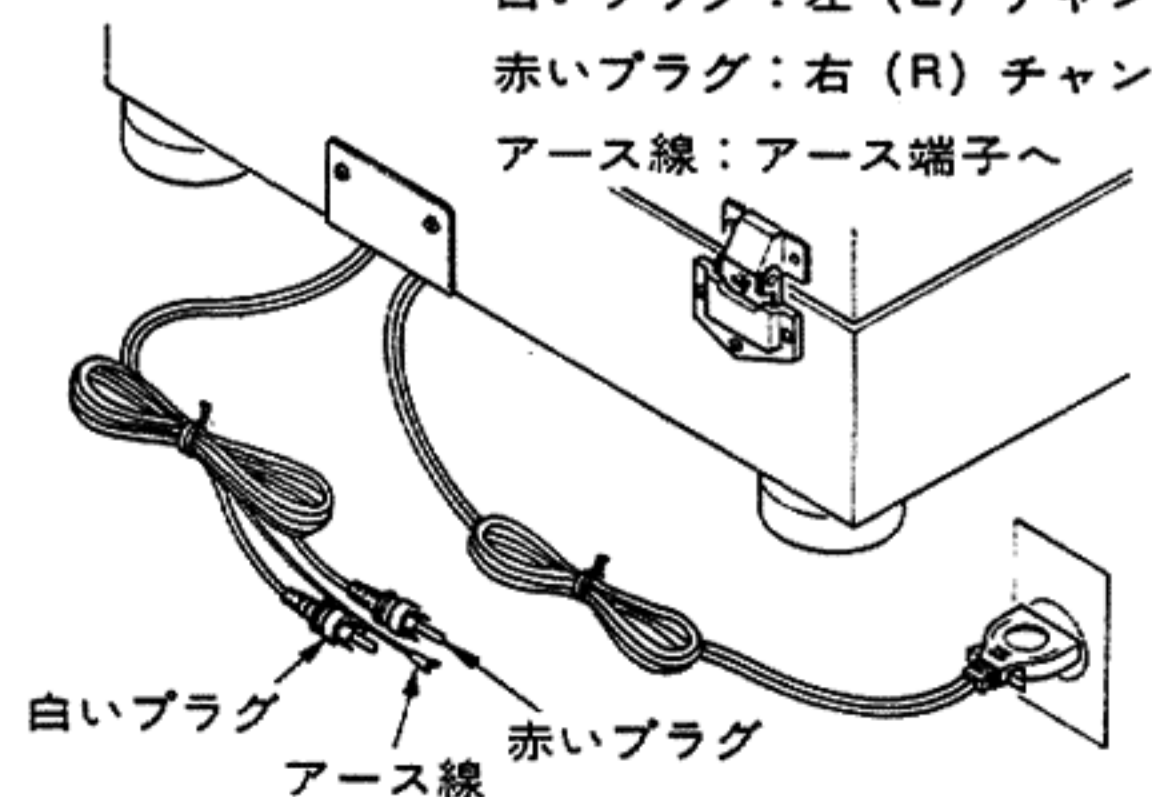


① 方向に回すとキャビネットが低く、② 方向に回すと高くなります。

(注)・キャビネットを引きずりますと、脚がねじれることがあります。そのようなときには、もう一度キャビネット全体を持ちあげて脚を水平にしてください。

■ アンプへの接続

アンプの“PHONO”端子へ  
 白いプラグ：左(L)チャンネル  
 赤いプラグ：右(R)チャンネル  
 アース線：アース端子へ



# 主要部分の名称および働き

## キュー ダンピング Q DAMPING

このつまみをカートリッジで指定された針圧値に合わせますと、トーンアームの水平方向と垂直方向の動きを制御し、アームの共振点をさげることができます。

## アンチ スケーティング ANTI-SKATING

丸針をご使用のときにはこのつまみの●印側に、また 楕円針やシバタ針の場合には●印側の目盛りでカートリッジで指定された針圧値に合わせてください。針先のすべりや内周溝に加わる力を防止することができます。

## スピード インジケータ

回転数が安定しますと、"33" または "45" の表示が赤から緑に変わります。

## トラッキング フォース TRACKING FORCE

このつまみを回すと針圧が加わりますので、カートリッジで指定された針圧値に合わせてください。

## パワー POWER

本機に電源をいれる場合、このボタンを押してください。  
スピード インジケータ "33" および SIZE インジケータ "30" が点灯して、本機に電源がはいったことを表示すると同時に、TRACKING FORCE のつまみで指定された針圧がトーンアームに加えられます。  
なお、電源を切る場合には、もう一度このボタンを押してください。

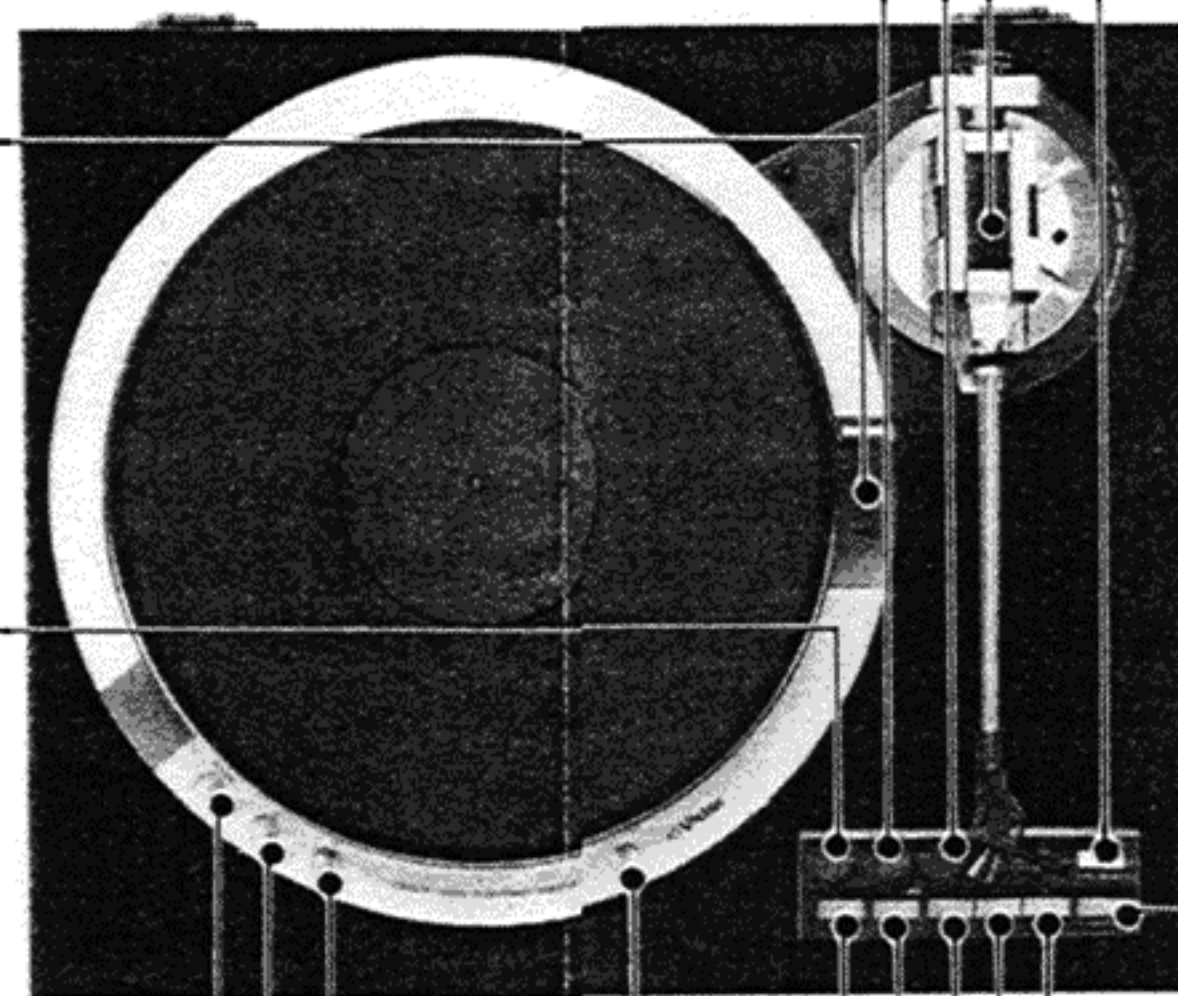
(注)・本機では POWER スイッチを切っても 3W の電力が消費されております。  
ご旅行などで長期にわたって使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いて節電 (または 安全) に心がけてください。

## 45、33

レコードに合わせてターンテーブルの回転数を、このボタンで切り替えます。  
45 回転レコードでは "45" のボタンを、また 33 $\frac{1}{2}$  回転レコードでは "33" のボタンを押してください。回転数に合ったスピード インジケータが点灯し、ターンテーブルの回転数を表示します。

## ターンテーブルの略 スタート ストップ TT-START/STOP

このボタンを押すとターンテーブルだけを回転させたり、停止させたりすることができますので、手動演奏のときにご使用ください。



## トーンアーム

本機のトーンアームは、針圧、ANTI-SKATING、Q DAMPING の動作がすべて電気的におこなわれておりますので、機械的損失が非常に少なくなっています。

## ゼロ バランス ZERO BALANCE

トーンアームのゼロ バランス調整をおこなうときにのみ、このボタンを押します。ボタンを押すと ZERO BALANCE インジケータが点灯し、POWER 以外のボタンを押しても動作しなくなりますので、ゼロ バランス調整後はかならずこのボタンを押して、ZERO BALANCE インジケータを消してください。

## スタート ストップ START/STOP

レコードを自動演奏する場合 または 演奏を途中で中止させる場合、このボタンを押します。  
なお、演奏を開始するときにこのボタンを押すと "START" としての機能が、また 演奏中に押せば "STOP" としての機能が働きます。

## アップ ダウン UP/DOWN

トーンアームが持ちあがっている状態でこのボタンを押すとアームが降下し、降下した状態で押すと今度は反対に持ちあげられます。  
手動演奏時にこのボタンをご使用いただくと、とても便利です。

## く、>

トーンアームは手で移動させることも、また 下記のボタンで任意の位置まで移動させることもできます。  
く：このボタンを押している間はトーンアームが持ちあがった状態で左へ移動し、指を離すとそのままの状態です。  
>：このボタンを押している間はトーンアームが持ちあがった状態で右へ移動し、指を離すとそのままの状態です。

## サイズ SIZE

自動演奏をおこなう場合、レコードの大きさをこのボタンで選びます。  
SIZE インジケータの "17" が点灯したときには 17cm レコードの外周溝に、また "30" の場合には 30cm レコードの外周溝にトーンアームの降下位置を設定することができます。

(注)・トーンアームが移動中であればまだ降下位置を変更することができますが、降下し始めると変更はできなくなります。

## リピート REPEAT

レコードを何回でもくり返してお聞きいただく場合、このボタンを押してください。

REPEAT インジケータが点灯します。

なお、くり返し演奏を解除するときには、もう一度このボタンを押して REPEAT インジケータを消してください。

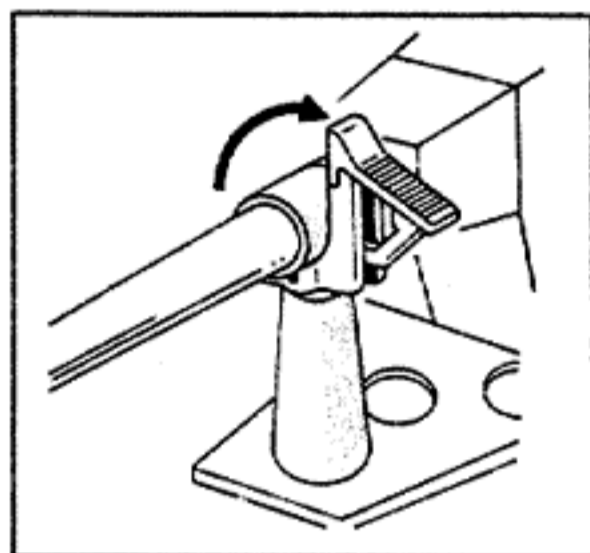
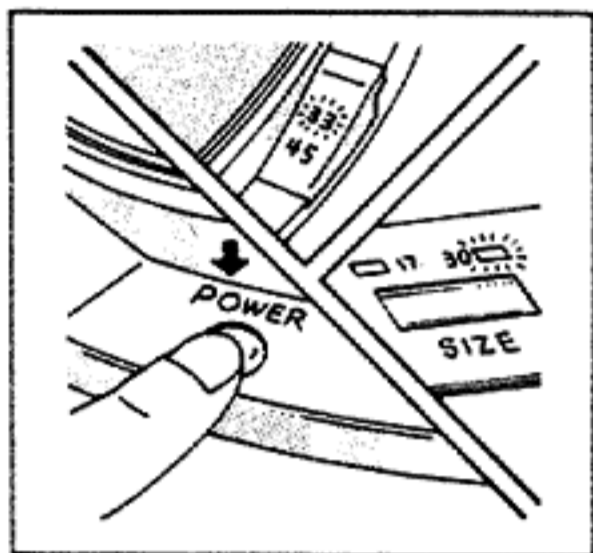
(注)・レコード演奏中に START/STOP のボタンを押すと、自動的に REPEAT が解除され、トーンアームはレスト台にもどされます。

# 使いかた

## ■ プレーヤー部の操作

1. POWER のボタンを押します。

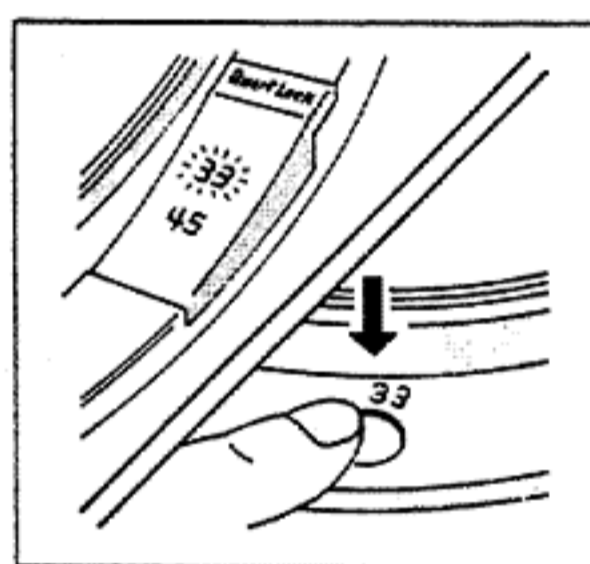
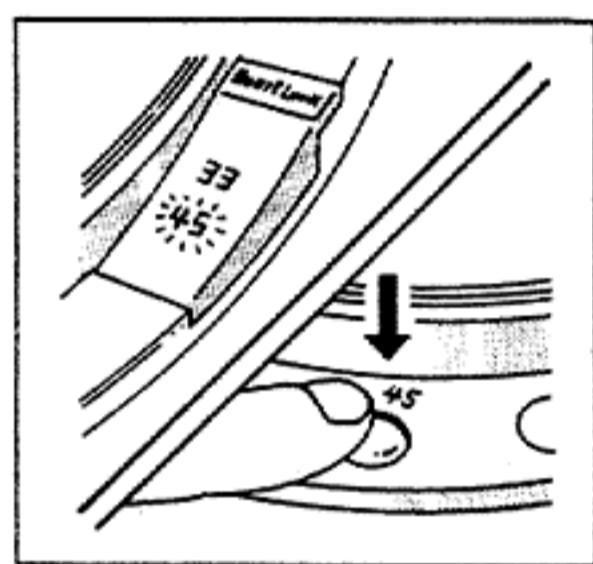
ボタンを押すとスピード インジケーター "33" および SIZE インジケーター "30" が点灯し、本機に電源がはいったことを表示します。



2. レコードをのせ、レスト台のクランプをはずします。
3. レコードの回転数に合わせ、ターンテーブルの回転数を切り替えます。

45回転レコード：45のボタンを押します。

33 $\frac{1}{2}$ 回転レコード：33のボタンを押します。

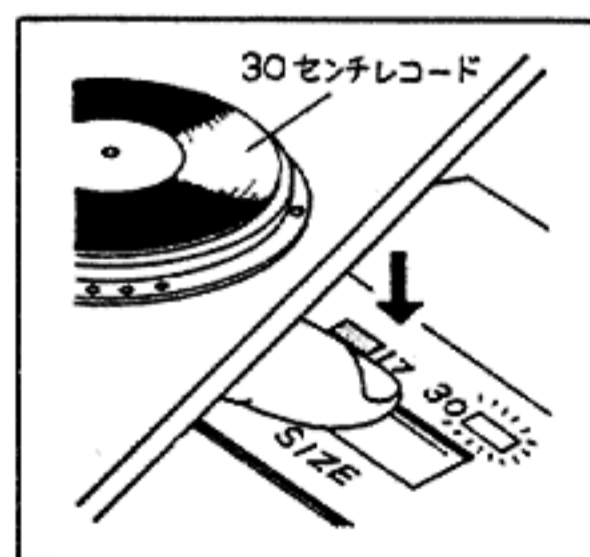
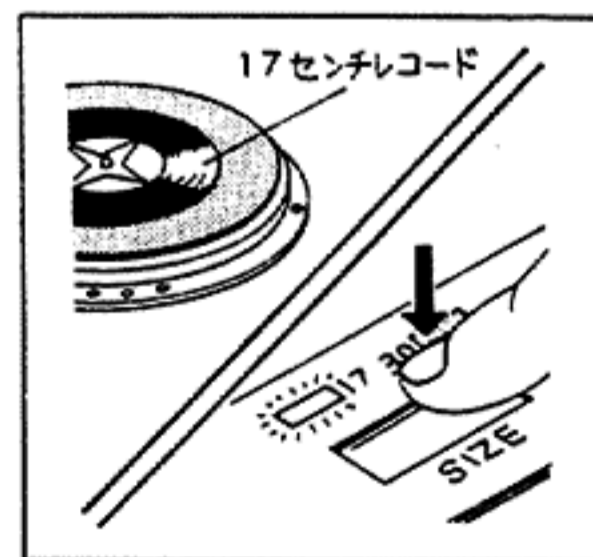


### ・自動演奏をする場合

4. レコードの大きさを SIZE のボタンで選びます。

・17cmレコード：SIZE のボタンを押して、インジケーター "17" が点灯するようにします。

・30cmレコード：SIZE のボタンを押して、インジケーター "30" が点灯するようにします。

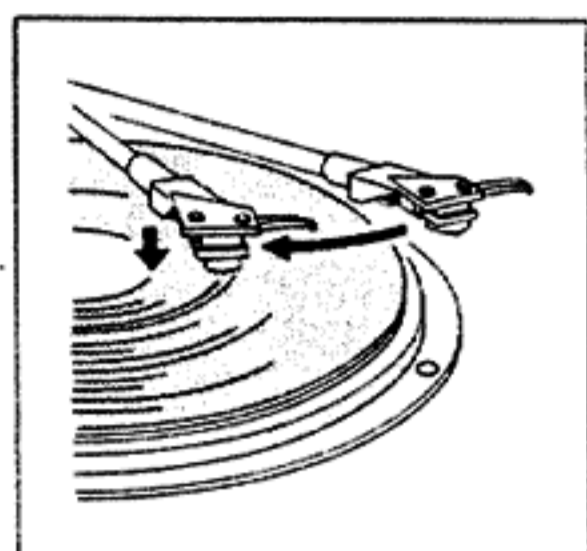
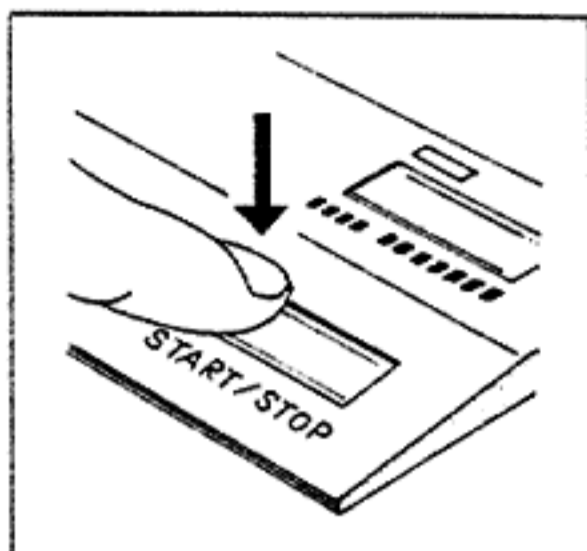


5. START/STOP のボタンを押します。

ボタンを押すとターンテーブルが回転を始め、SIZE のボタンによって設定された位置までトーンアームが移動し、静かに降下をはじめて演奏が開始されます。

なお、スピード インジケーターは、ターンテーブルの回転数が安定するまで赤になっておりますが、回

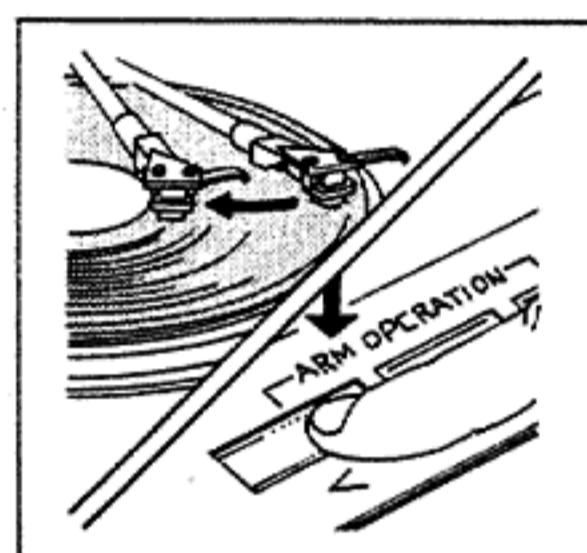
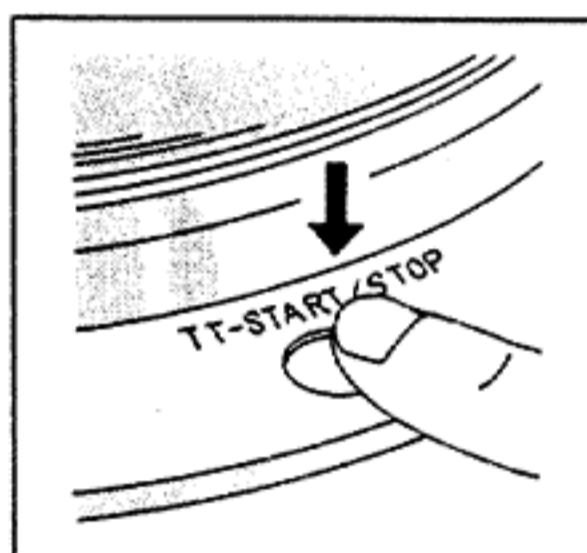
転数が安定してクォーツロックの状態になりますと、赤から緑に変わります。



### ・手動演奏をする場合

6. TT-START/STOP のボタンを押します。

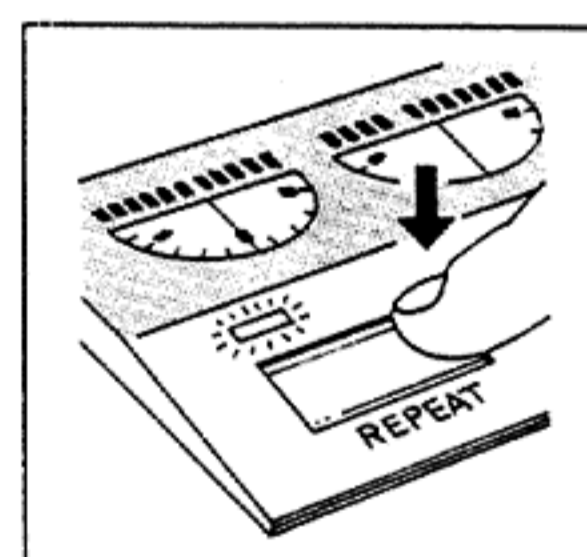
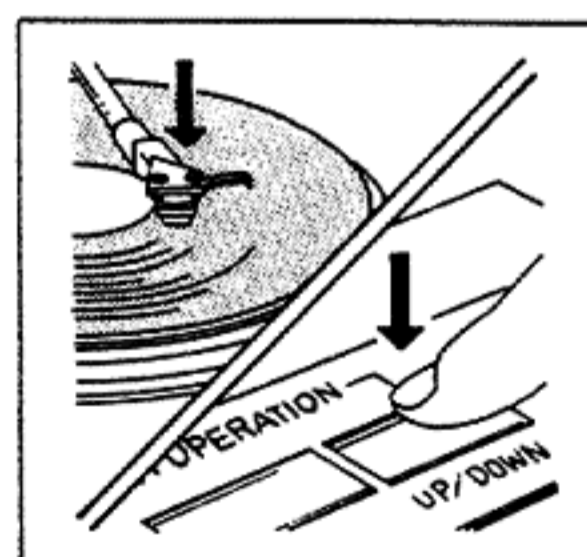
ターンテーブルが正規の回転数になると、スピードインジケーターは赤から緑に変わります。



7. トーンアーム送り用のボタン "<" を押し続け、希望する位置までアームが左へ移動したときに指を離します。指を離すとトーンアームは止まります。なお、トーンアームを小刻みに動かしたいときには、"<" または ">" のボタンを軽くトントンと叩くように押ししてください。

8. UP/DOWN のボタンを押します。

ボタンを押すとトーンアームが静かにレコード面に降下し、レコード演奏が始まります。



### ・くり返し演奏をする場合

9. REPEAT のボタンを押します。

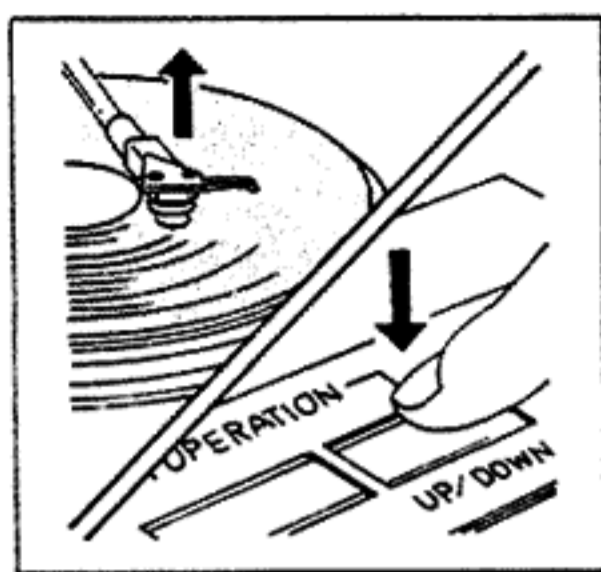
ボタンを押すと REPEAT インジケーターが点灯し、点灯している間は何回でもくり返し演奏ができます。なお、くり返し演奏を解除するときには、もう一度 REPEAT のボタンを押すか、あるいは演奏中であれば START/STOP のボタンを押してください。

### ・レコード演奏を途中で中断する場合

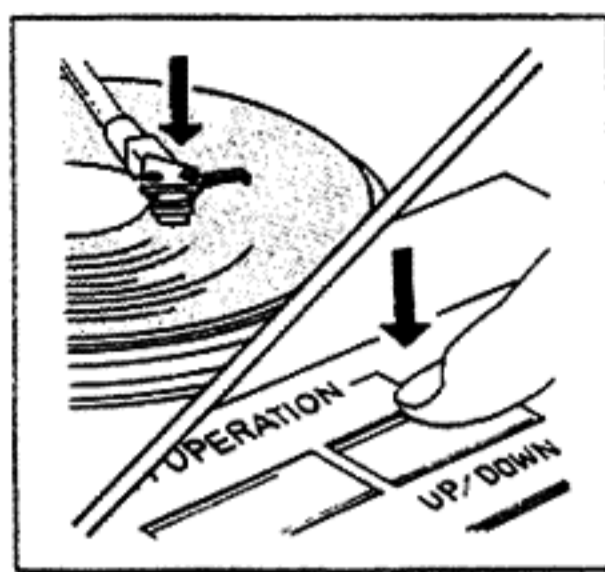
10. UP/DOWN のボタンを押します。

演奏中にこのボタンを押すとトーンアームが持ちあげられ、演奏を一時中断することができます。

なお、レコード演奏を再開する場合には、もう一度 UP/DOWN のボタンを押してください。



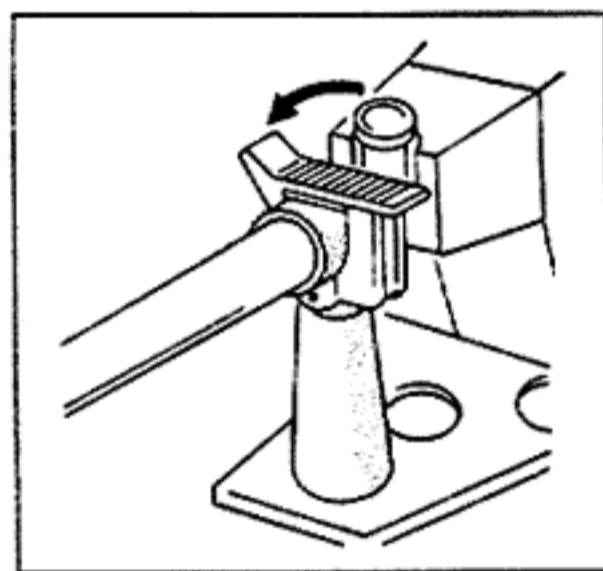
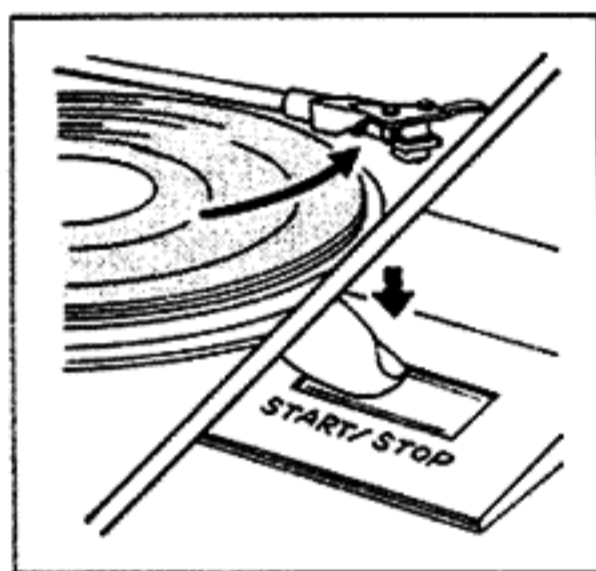
演奏を中断する場合



演奏を再開する場合

#### ・レコード演奏を途中で中止する場合

11. 演奏が終ると自動的にトーンアームがレスト台までもどされますが、演奏を途中で中止する場合には、START/STOP のボタンを押します。



#### ・レコード演奏が終了したときは

12. トーンアームをレスト台にクランプし、POWER のボタンを押して、本機の電源を切って、スピードインジケーター および SIZE インジケーターが消えたことを確認してください。

説明のないつまみに関しては、「主要部分の名称および働き」の項・5～6 ページをご参照ください。

### ■ アンプ部の操作

1. POWER スイッチを“ON”にします。
2. SOURCE スイッチを“PHONO”にします。  
(アンプによっては、FUNCTION または SELECTOR となっているものもあります)
3. アンプ側に SPEAKERS スイッチがあれば、スピーカーのつながる位置に切り替えます。
4. TAPE MONITOR スイッチを“OFF”にします。
5. レコード演奏を始めます。  
レコード演奏については、「プレーヤー部の操作」の項をご参照ください。
6. VOLUME のつまみで適当な音量に調整します。

### ■ レコードを上手に聞くコツ

- ・レコードにとって一番の大敵は、ホコリです。  
針先のホコリはブラシで、またレコードはレコードクリーナーで溝のホコリをきれいにふきとってください。



ホコリは大敵



レコードクリーナーで溝のホコリを

- ・針圧が軽すぎると“音とび”を起こしたり、音が歪んだりします。レコードは常に適正針圧でお聞きください。



針圧調整不良

- ・プレーヤーがスピーカーとくっつきあっていたり、振動の伝わりやすい所に置いてありますと、ハウリング（一種の発振現象で「ワーン」という大きな音）を起こす恐れがあります。  
そのような場合には、スピーカーとプレーヤーを離してご使用ください。



くっつけない

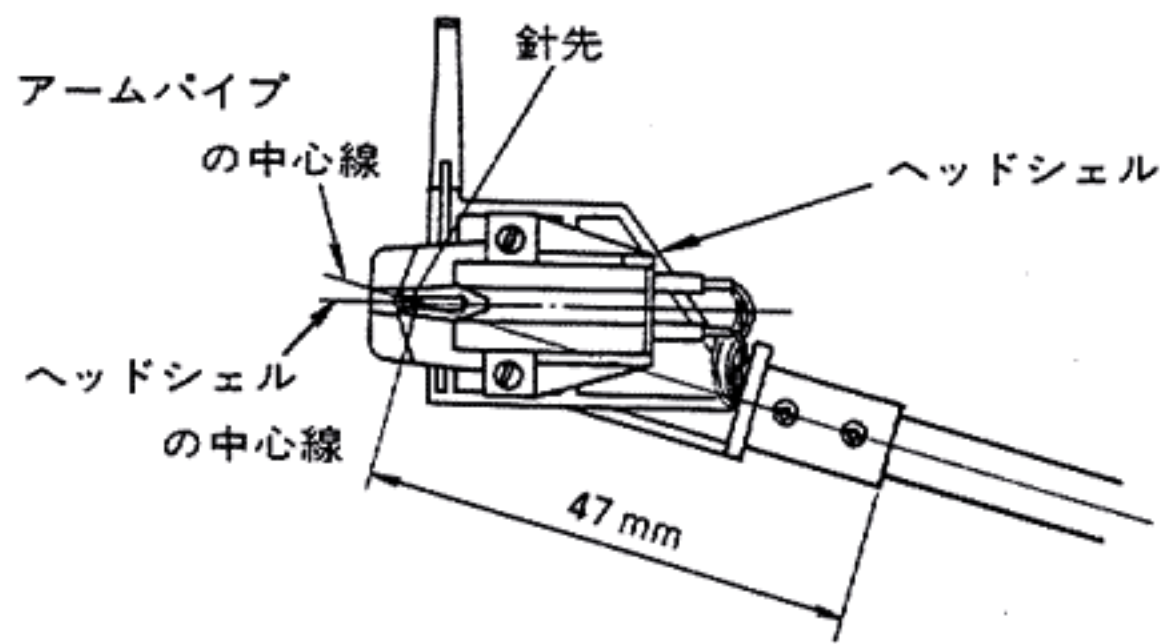


# 調整

次に示す調整は、カートリッジやヘッドシェルを取り付けたり、交換したときにのみおこなうようにして、普段はいじらないでください。

## ■ オーバーハング調整

本機のストレート型アームでオーバーハングを調整する場合は、カートリッジを図のようにヘッドシェルに対して平行で、かつ端から針先までの寸法が 47 mm になるように、しかもアームパイプの中心線とヘッドシェルの中心線が交わる所に針先がくるようにしてください。



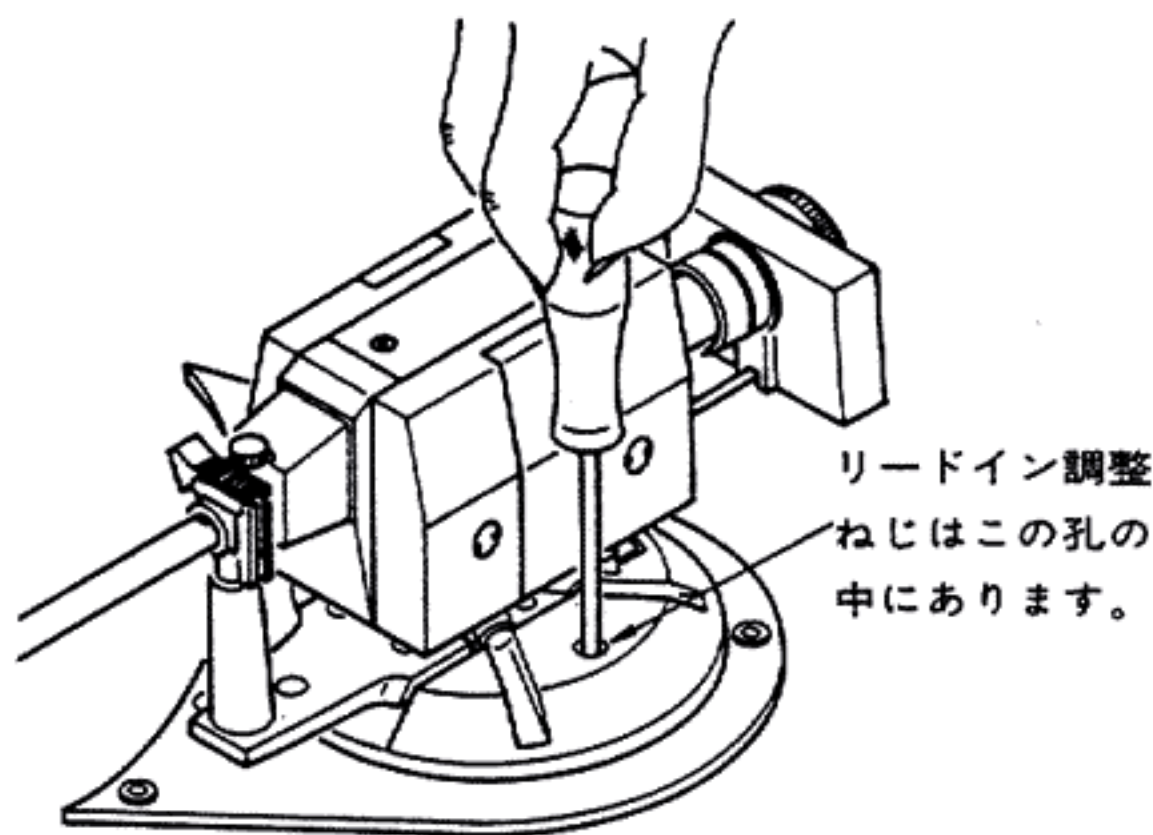
なお、±1 mm 程度の寸法誤差は、性能上問題ありませんので、安心してお使いください。

## ■ リードイン調整

30 cm レコードで自動演奏をしたとき、針先がレコード盤の外周より内側へ 3~4 mm はいるように、マイナスドライバーでリードイン調整ねじを回してください。

この場合、リードイン調整ねじを右(↻)に回すと針先はレコード盤の内側に、また左(↺)に回しますと外側に降下します。

なお、リードアウトについては、リードイン調整によって自動的にリードアウトの調整もできるように設計されております。



# 保証とアフターサービス

## ■ 保証書には、購入年月日などが必要

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買いあげ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入 および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。



## ■ 保証期間

保証期間は、お買いあげ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買いあげ販売店が修理いたします。

そのほか詳細は、保証書をご覧ください。



## ■ アフターサービスのお問い合わせは

ご転居・ご贈答・その他アフターサービスについてご不明の点は、お買いあげ販売店 または 別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。また、もよりのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。



## ■ 保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。



## ■ 補修用性能部品の保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



## ■ 修理依頼

修理を依頼される時は、お手数でももう一度「故障? と思う前に」の項(10ページ参照)をよくご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときには、電源プラグをコンセントから抜いて、次のことをお知らせください。

- ・ 型名: QL-Y77F
- ・ 住所、氏名、電話番号、道順
- ・ 訪問希望日
- ・ 故障状態をできるだけ詳しく



# 故障？ と思う前に

—おや？ 故障かな？ と思ったら……………

修理を依頼する前にちょっとお確かめくださいー



音がでない。

トーンアームのさしこみは十分ですか。



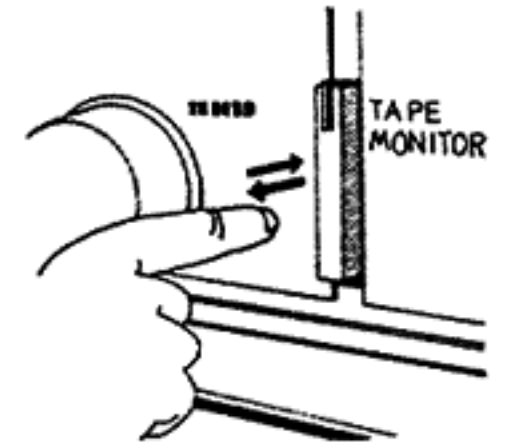
基線がわずかに見える所までいっぱい、トーンアームをさしこんでください。

ソースセレクターの操作を誤っていませんか。



SOURCE SELECTOR の操作は正しく。

テープモニターがONになっていませんか。

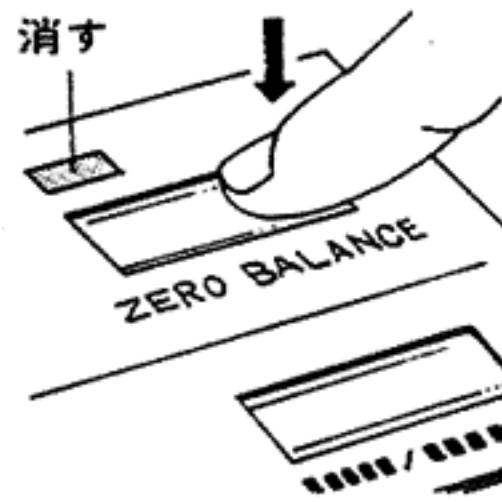


TAPE スイッチを "SOURCE" または "OFF" にしてください。



プレーヤーが動作しない。

ゼロバランスインジケーターが点灯していませんか。



ZERO BALANCE のボタンをもう一度押して、インジケーターを消してください。



レコード演奏ができない。

トラッキングフォースのつまみが "0" になっていませんか。

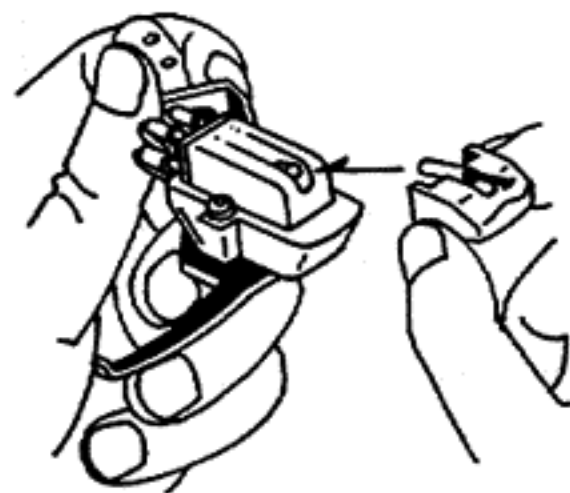


TRACKING FORCE のつまみをカートリッジで指定された針圧値に合わせてください。



雑音で聞き苦しい。

レコード針が摩耗していませんか。



新しいレコード針に交換してください。

針先にホコリが付いていませんか。



針先のホコリは、ブラシできれいにふきとってください。

レコードが古かったり、ホコリが付いていたりしませんか。



レコード クリーナーでホコリをふきとってください。

# 仕様

# 寸法図

## ● モーター部

型式	クォーツロック コアレス DC型 FG サ ーボ モーター
駆動方式	ダイレクト ドライブ
回転数	33 $\frac{1}{3}$ 、45 回転
速度検出方式	周波数検出方式 (FG 方式)
サーボ型式	両方向 サーボ クォーツロック
起動特性	$\frac{1}{3}$ 回転以内 (33 $\frac{1}{3}$ 回転時)
回転ムラ	0.008% (RMS 回転部 FG 法) 0.015% (WRMS JIS 法)
S/N	80dB 以上 (DIN-B)
起動トルク	1.8kg·cm
回転数偏差	0.0015%以内
負荷特性	0% (針圧の合計が 250g までは回転数 の変化がありません)
ターンテーブル	30.8cm

## ● トーンアーム部

型式	エレクトロ ダイナミック サーボ方式 ダイナミック バランス型 トーンアーム
有効長	254 mm
トラッキング エラー	-1°12' ~ +1°48'
オーバーハング	15 mm
針圧可変範囲	0 ~ 3g (0.25g ステップ直読式)
適合カートリッジ重量範囲	3.5 ~ 9.5g
アーム高さ可変範囲	51 mm ± 3 mm

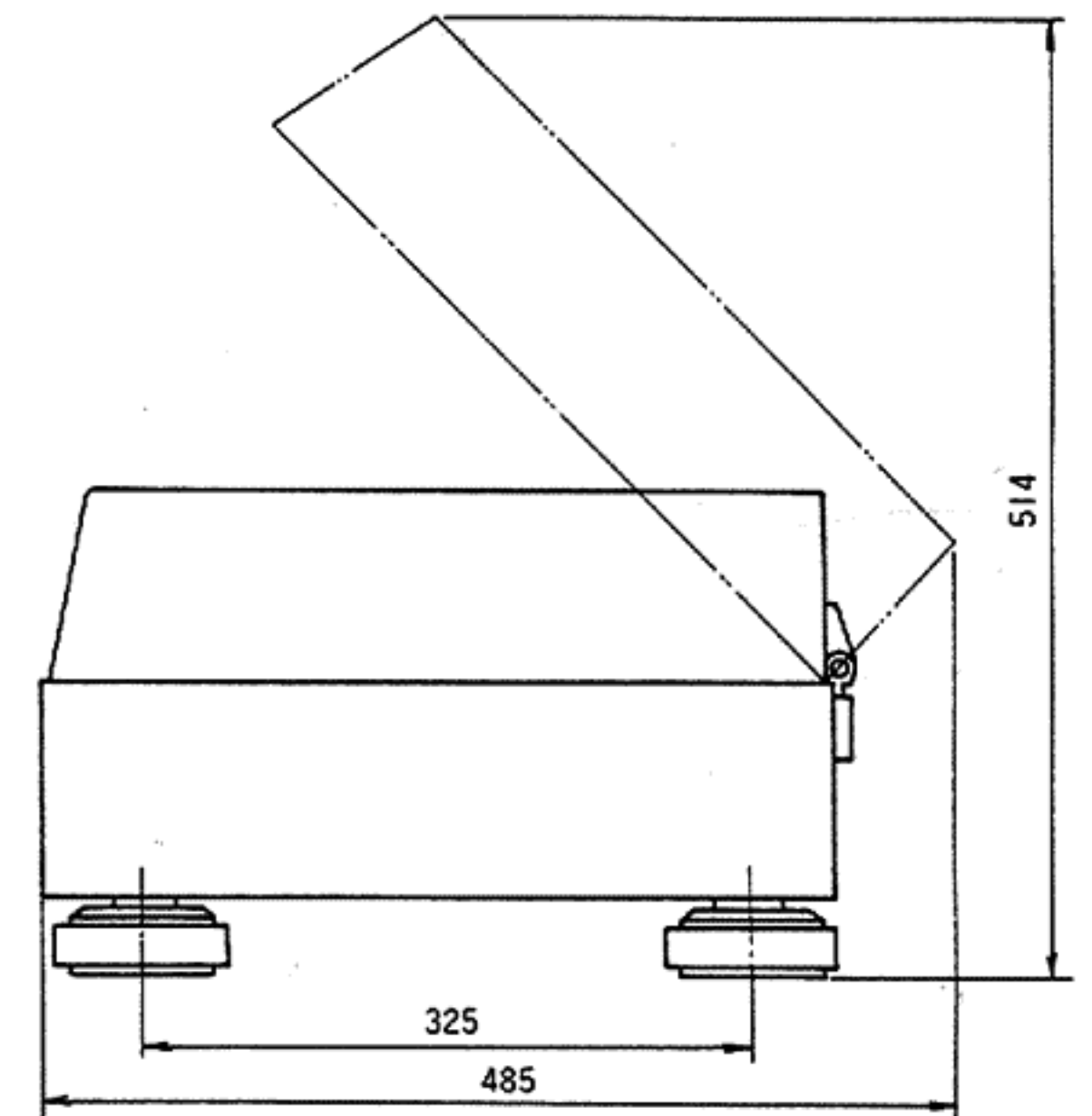
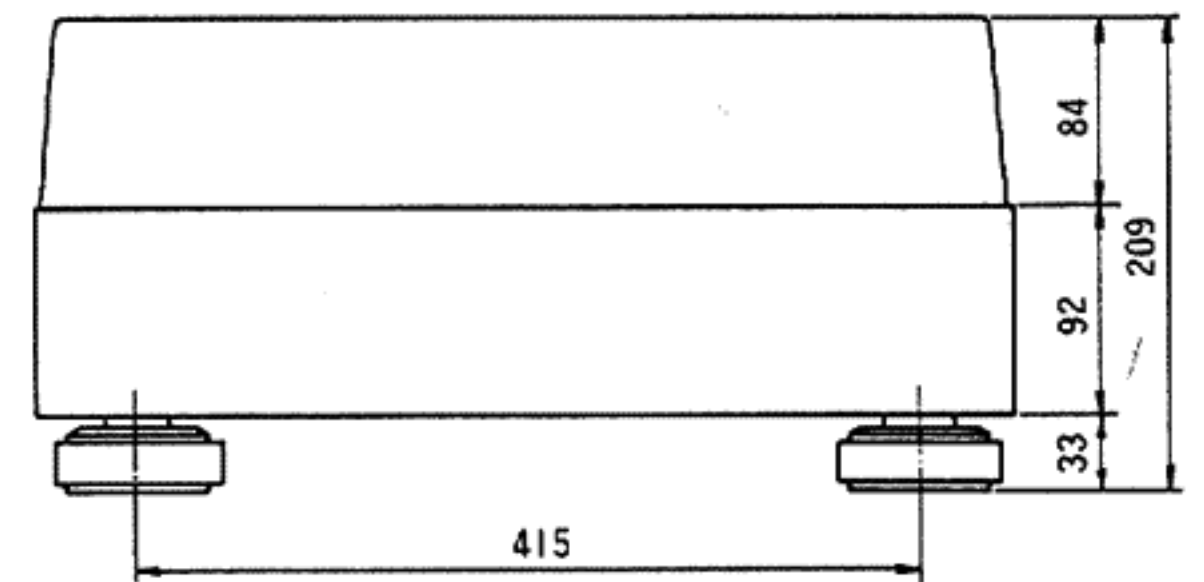
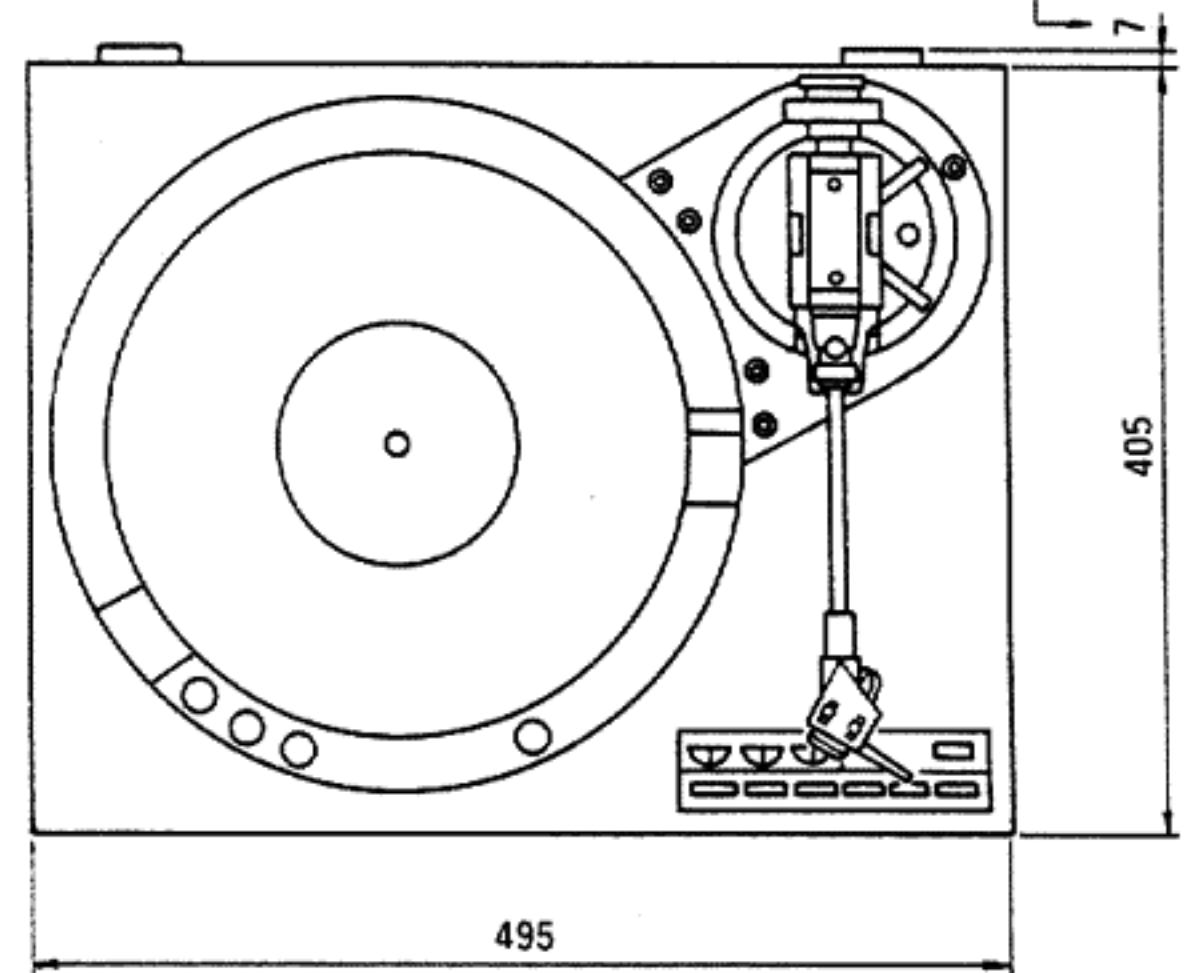
## ● 電源部・その他

電源電圧	AC 100V (50Hz、60Hz 両用)
消費電力	演奏時：12W (㊦ 電気用品取締法基準) POWER OFF 時：3W (50Hz、60Hz)
重量	14kg (本体)

付属品	EP アダプター	1
	六角用ドライバー	1
	ストレート型アーム	1
	スクリー Ass'y	1 セット
	20mm スクリュー	2
	13mm スクリュー	2
	ワッシャー	2
ナット	2	

(注)・本機の仕様 および 外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

(ダスト カバーなしの状態)



(注)・寸法の単位は mm です。

## 日本ビクター株式会社 ステレオ事業部

所在地 〒242 神奈川県大和市下鶴間甲10号1644番地 電話 (0462) 74-2121(代表)  
お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター 電話 (03) 580-2861  
〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号